

周南市立新南陽市民病院新改革プラン（第2期）
令和3年度 目標達成に向けた取組の実施状況

目標達成に向けた主要な取組 (改革プランP.7~11)	実施状況（主な事例）等	評価
① 収支改善に向けた取組(収入増加)		A
(ア) 施設充実にに向けた計画・検討	腎・泌尿器・透析センター、健診事業の強化とセンター、化学療法室の設置、拡充の計画、検討および推進	B
(イ) 外来運営の見直し	発熱患者の受診に対応する発熱外来の設置	A
(ウ) 具体的な目標の設定	DPCデータの活用により、緻密な部門別収支の算出により収支を把握し、部門ごとの目標を設定することで、経営効率化を図る。	A
(エ) クリティカルパスの活用	パスの活用による計画的な入院及び平均在院日数の短縮 平均在院日数:16.0日 対前年比+1.2日	B
(オ) 急患・救急患者への対応	救急車搬送患者数: 862人 対前年比 +23.7% 時間外救急患者数: 1,158人 対前年比 +8.1% ※連携強化、積極的な受入	A
(カ) 地域連携の強化	地域連携・入退院支援センターが核となり調整 紹介率:70.3% 対前年比 ▲6.0% 逆紹介率:57.2% 対前年比 +11.7%	A
(キ) 充実した医療サービスの提供	診療単価の増加。入院対前年比+16.1%、外来対前年比+7.2%	A
(ク) 適切な診療報酬の確保	栄養サポートチーム加算の取得(H30.9~) 患者サポート体制充実加算の取得(H30.12~)	B
(ケ) 未収金への対応	未収金予防・回収のためのマニュアルの整備・実践	B
② 収支改善に向けた取組(経費削減)		A
(ア) DPCデータ活用による効率的な運営	DPCデータを有機的に活用することで、医療の適正化による医療費の削減とDPC収益の効率化を目指す。→ 診療科別の単価、在院日数等経営指標の有効利用の推進	A
(イ) 地域包括ケア病床の増床に伴う人員の適正配置 および後発医薬品の推進	新型コロナウイルス感染症患者対応および薬品需給の影響のため当年度は評価は保留	—
(ウ) 医療機器等の計画的導入	医療機器選定委員会の開催	A
(エ) 医療材料の適正管理	診療材料管理システムによる適切な在庫管理、棚卸の実施(年2回)、 医療材料選定委員会の開催(年3回)	A
(オ) 院外処方への積極的な推進	外来院外処方率:95.3% 対前年比 ▲0.3%	A
(カ) その他の費用の削減	薬品費、委託費等の見直し	A
③ 効率的な運営に向けた取組		B
(ア) 人事評価制度の再編導入、勤務評価制度の導入・ 給与体系および医事業務等の見直し	新型コロナウイルス感染症患者対応および感染予防への対応のため当年度は推進を休止	—
(イ) 企画経営部門の充実および職員厚生施設 の見直し	新型コロナウイルス感染症患者対応および感染予防への対応のため当年度は推進を休止	—
(ウ) 働き方改革の実践および医師の働き方改革 への取り組み	医療サービスを効率よく提供するため、状況にあった働き方の見直し、医師の待遇や勤務環境の改善を図ると共に、休暇取得率の向上等、医師の過重労働の軽減に努める。	B
(エ) 職員の意識改革	病院経営連絡会議(医師、事務方で構成)の開催 運営委員会、病院等連絡会議等で経営実態情報の共有化	A
(オ) 患者サービスの向上	サービス向上専門委員会の開催(4回) 外来及び入院患者アンケート調査の実施(コロナのため中止)	A
(カ) NST(栄養サポートチーム)の設置	NST勉強会実施、カンファレンス及びラウンドの実施、加算の取得(H30.9~)	B
(キ) 広報活動の強化・充実	病院ホームページの充実、病院だよりの発行、病院等訪問、 看護の日記念行事、救急の日、糖尿病週間行事等各種イベント活動(コロナのため中止)	B
(ク) 人材確保・人材育成	随時募集の実施、勤務環境の改善	B
④ 公立病院としての役割の確率		A
(ア) 予防医療への取り組み	行政や地域の医療機関とも連携し、質の高い予防医療を提供することで、地域住民の健康維持・増進に貢献 新型コロナウイルスワクチン接種業務への対応	A
(イ) 地域医療への貢献・地域連携強化	地域連携・入退院支援センターの運営 新南陽市民病院の果たすべき役割の実践 → 中須診療所へ医師(H23.2~)、看護師2人の派遣(H23.4~):毎週木曜日午後 鹿野診療所へ医師(H28.4~):毎週木曜日午後 福寿荘の嘱託医(H30.4~):月4回 ※ 発熱外来(R2.5~)、診療・検査医療機関(R2.11~)、地域外来・検査センター(R2.9~):毎週月・水曜日午後(以上、コロナ対応)	A
(ウ) 医師の確保	山口大学との信頼関係の維持、泌尿器科常勤医確保(R01.10~)	A

※ 当年度はコロナ感染症対応の影響を考慮して評価を行った。

【評価基準】 A: 目標どおり達成 B: 概ね達成(70%以上) C: ある程度達成(40~70%未満) D: 達成できてない(40%未満)